

～めざすは親が安心安全快適に暮らせる家～

実家の片付け 1

高齢化した親の家、片付けが必要なのは親のせいでも子のせいでもなく現代社会が生んだ問題。。

親の家を片付けるということ・・・

それは親の老いと向き合い、再び親子が向き合うこと。

たいへんなことですが、やり終えるとき「良かった」と思えるはずです。

突然、片づけをしなければならないこともあります。そんな時の為にも早目の準備が大事です。



片付けノートを作しましょう

片付けに直面すると動揺し慌ててしまうことが多いようです。ノートに書くことで現状把握ができ、気持ちも少しずつ落ち着いてきます。

＜現状把握～情報収集＞

- 親について（状況、要望、思いなど）
- 家について（所有か賃貸か契約の状況、名義人など）
- 相談すべき人のリスト（兄弟姉妹、親戚関係）
- 兄弟姉妹、親戚の意見（あのタンスがほしい・・・など）
- 片付け以外にしなければならないこと（親の通院の付き添い、夫の退職時期など「せざるをえないこと」）
- 地域のゴミの分別方法、収集方法
- 粗大ゴミの出し方
- 利用できそうなプロのサービス内容と費用
- 片付けに参加できる人のリスト
- 参加する人の今後のスケジュール



カンタンおかたづけ！

家の中でいちばん身近な場所・・・リビング特集♪

リビングでいちばん散らかりやすいもの・・・それは新聞・雑誌類。このようなルールを決めておくだけで見違えるように片付きます。

1. する責任者を決める。



おとうさん
新聞担当



こども
マンガ担当



おかあさん
雑誌担当



2. 担当ごとに小さめのマガジンラックを用意

新聞紙が1週間分くらい入る大きさのシンプルなマガジンラックが良い。大きすぎるとなんでも入れたくなります。マガジンラックは各担当者が管理。子供にも簡単にでき、責任感も養えます。



- 1年以上前の雑誌は処分。
- マガジンラックがいっぱいになったら各自が処分するようにしましょう。
- テーブルやソファに置きっぱなしにしない

基本的に読んだら元へもどす習慣をつける。親も子供も家族全員の決まりにしましょう。